



第112期 株主通信 中間報告書

平成18年12月1日▶
平成19年5月31日

株主メモ

事業年度 毎年12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会 毎年2月
同総会議決権行使
株主確定日 毎年11月30日
期末配当金支払
株主確定日 毎年11月30日
中間配当金支払
株主確定日 毎年5月31日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
(連絡先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問合せ先 0120-232-711 (フリーダイヤル)
各種手続用紙のご請求 0120-244-479 (フリーダイヤル)
同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店
野村證券株式会社全国本支店
公告方法 当社ホームページに掲載いたします。
但し、電子公告を行うことができない事
故その他のやむを得ない事由が生じたと
きは、日本経済新聞に掲載いたします。

HP紹介



株主のみなさまへ

Contents

- 株主のみなさまへ 1
- 中間連結決算ハイライト 2
- 営業の概況 3
- 部門別 3
- 中間連結財務諸表 5
- 中間単体財務諸表 7
- トピックス 8
- 会社の概況 9
- 株式の概況 10

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援、ご協力を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

さて、当社は、平成19年5月31日をもちまして、第112期（平成18年12月1日から平成19年11月30日まで）の中間決算が終了いたしましたので、ここに営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

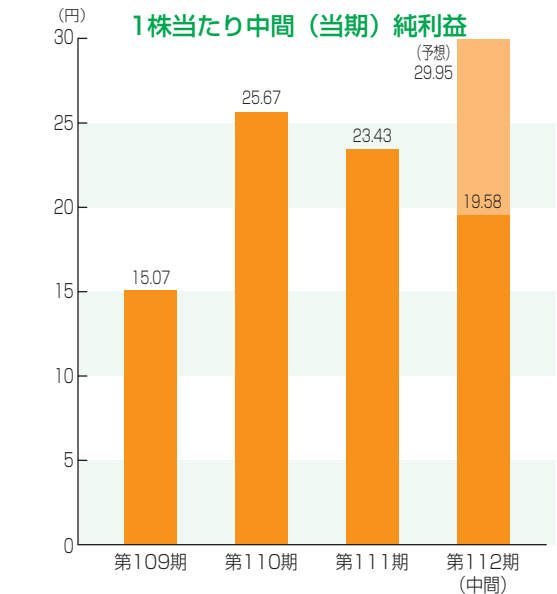
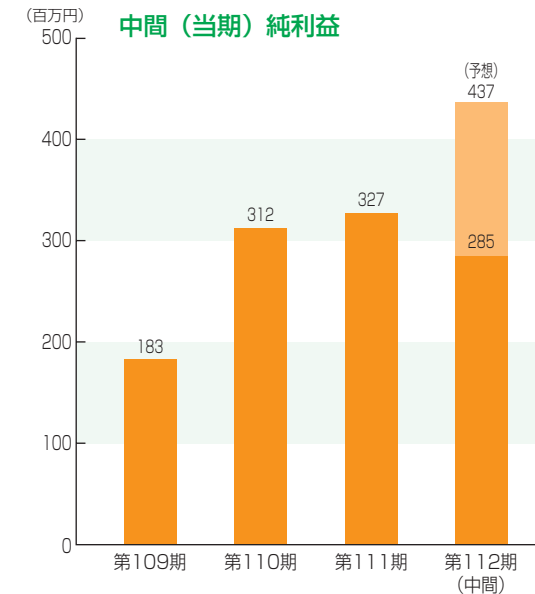
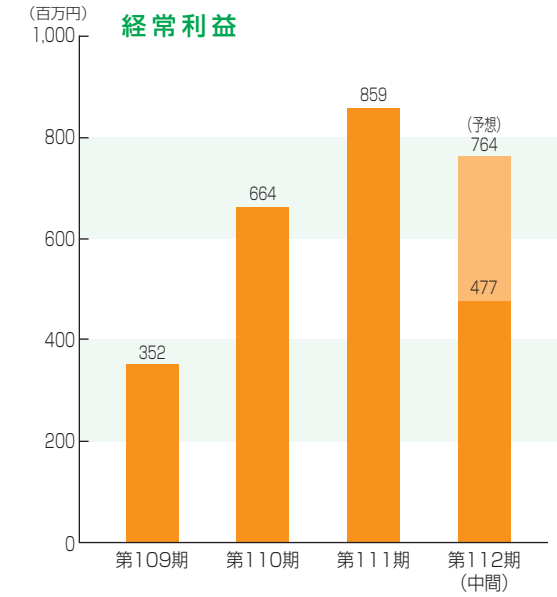
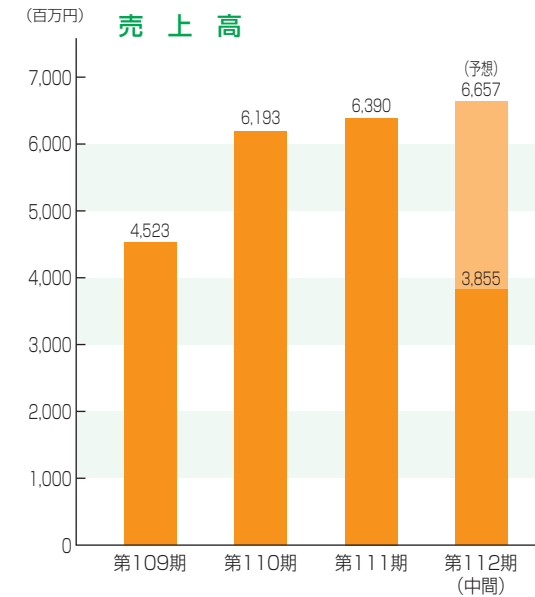
なお、今後につきましても、業績の向上を目指して更に努力する所存でございますので、一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年8月



取締役社長
渡邊 洋三

中間連結決算ハイライト



営業の概況

部門別

■当中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間のわが国経済は戦後最長といわれたいざなぎ景気を抜き拡大期間更新を続けていました。一方当業界を取り巻く環境は国土交通省発表の21社統計によれば全国ベースでの月末保管残高は前年比で数量、金額共横ばいとなっており首都圏を除いてはいまだ回復基調にはない状況にありました。

当社グループの事業は不動産部門の好調な業績により売上高は3,855百万円、前年同期比1,417百万円の増収、営業利益は506百万円、前年同期比200百万円の増益、経常利益は477百万円、前年同期比183百万円の増益、中間純利益は285百万円、前年同期比138百万円の増益となりました。

なお、当中間期の配当は当初の予定通り、見送ることいたしました。



■物流事業

物流量の増加はみられるものの外資の進出等による新設倉庫の増加等もあり保管料をはじめとする価格面は低迷状態を続けておりました。こういった状況のもと営業に全力を傾けましたが一部荷主の在庫減、仙台地区の不振等もあり保管料、荷役料等売上高は減収となりました。この結果売上高は2,075百万円、前年同期比49百万円の減収となりました。ただ経費の削減が浸透したことにより営業費用も54百万円減少し、営業利益は415百万円、前年同期比4百万円の増益となりました。

■不動産事業

子会社丸ハクリエイト株式会社の仙台でのマンション売却が予定通り完了したこと、ならびにマンション開発共同事業者である大手デベロッパーに対し開発予定の練馬の土地の一部を売却したこと等により、業績は前年同期に比べ大幅に伸張しました。この結果売上高は1,779百万円、前年同期比1,467百万円の増収、営業利益は306百万円、前年同期比218百万円の増益となりました。

■部門別売上高

連結

当社グループの事業部門別売上高

区 分	当中間連結会計期間 〔平成18年12月1日～平成19年5月31日まで〕	
	金 額	構成比
物 流 事 業	2,075	54
不 動 産 事 業	1,779	46
合 計	3,855	100

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■通期の見通し

下期の見通しですが、わが国経済は設備投資の増大、輸出の伸張等に支えられて景気は拡大基調を維持するものと考えております。しかしながら当業界を取り巻く環境は当中間連結会計期間とは大きな変化はないものと認識しております。

こういった環境認識のもと、物流事業では既存倉庫の営業環境は仙台をはじめとして厳しい状況が続くものの、草加倉庫が8月より本格稼働することにより物流事業の売上は前年下期に比べ増収を見込んでおります。不動産事業におきましては上期のような大型売上はないものの、たな卸資産として保有している販売用不動産を計画的に売却することにより利益確保に努めたいと考えております。

通期の業績見通しですが、売上高は6,657百万円、前期比267百万円の増収、営業利益は765百万円、前期比127百万円の減益、経常利益は764百万円、前期比95百万円の減益、当期純利益は437百万円、前期比110百万円の増益と予想しております。

■対処すべき課題

国内経済は安定的な成長軌道を歩むと想定しております。しかしながら当業界を取り巻く環境は依然として厳しく保管料をはじめとする各種料金及び不動産賃料相場の低迷等が今後も続くものと考えております。かかる環境下なお一層のコスト削減は勿論のことですが、あわせて従前から手がけております個別顧客ごとの収益率改善及び新しい倉庫の確保による売上高拡大が経営戦略上の重要課題であると認識しております。

特に次の点に対応していく所存でございます。

1. 八街に計画中の文書保管用倉庫開設に向け新規顧客の開拓に注力する
2. 売上高増強に向けた施策を推進する
3. 現在の営業状況を踏まえ所管面積拡大のため物件情報の収集に努める
4. 内部統制の構築に向け社内の体制整備を図る

中間連結財務諸表

■中間連結貸借対照表

科目	当中間期 (平成19年5月31日現在)
資産の部	
流動資産	3,093,672
現金及び預金	65,782
受取手形及び営業未収金	364,836
たな卸資産	2,514,449
繰延税金資産	65,808
その他	82,950
貸倒引当金	△ 154
固定資産	10,732,990
有形固定資産	9,192,972
建物及び構築物	3,143,182
機械装置及び運搬具	139,327
土地	4,674,242
建設仮勘定	1,045,591
その他	190,628
無形固定資産	19,620
借地権	465
その他	19,154
投資その他の資産	1,520,397
投資有価証券	979,239
従業員長期貸付金	17,143
差入保証金	359,186
会員権	21,744
繰延税金資産	11,510
その他	136,182
貸倒引当金	△ 4,610
資産合計	13,826,663

(単位：千円)

科目	当中間期 (平成19年5月31日現在)
負債の部	
流動負債	3,441,584
支払手形及び営業未払金	103,068
短期借入金	2,739,435
未払金	63,466
未払費用	112,279
未払法人税等	247,067
前受金	149,887
その他	26,379
固定負債	3,897,169
長期借入金	2,826,973
預り保証金	722,851
退職給付引当金	172,553
役員退職慰労引当金	171,456
負債のれん	3,334
負債合計	7,338,754
純資産の部	
株主資本	6,380,615
資本金	2,527,600
資本剰余金	2,046,936
利益剰余金	1,807,967
自己株式	△ 1,888
評価・換算差額等	87,081
その他有価証券評価差額金	87,081
少数株主持分	20,211
純資産合計	6,487,908
負債純資産合計	13,826,663

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■中間連結損益計算書

科目	当中間期 (平成18年12月1日から 平成19年5月31日まで)
売上高	3,855,422
売上原価	3,024,180
売上総利益	831,241
販売費及び一般管理費	324,335
営業利益	506,905
営業外収益	16,776
受取利息	1,764
受取配当金	4,247
保険解約返戻金	819
負のれん償却額	884
その他	9,061
営業外費用	45,895
支払利息	43,632
その他	2,263
経常利益	477,786
特別利益	20,491
固定資産売却益	51
貸倒引当金戻入益	190
投資有価証券売却益	20,250
特別損失	1,713
固定資産除却損	1,625
固定資産売却損	88
税金等調整前中間純利益	496,564
法人税、住民税及び事業税	242,373
法人税等調整額	△ 33,193
少数株主利益	1,614
中間純利益	285,769

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■中間連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当中間期 (平成18年12月1日から 平成19年5月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 316,578
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 811,025
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,118,761
現金及び現金同等物の減少額	△ 8,842
現金及び現金同等物期首残高	74,624
現金及び現金同等物中間期末残高	65,782

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■中間連結株主資本等変動計算書

当中間期 (平成18年12月1日から 平成19年5月31日まで)	株主資本				評価・換算差額等 その他有価証券評価差額金	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式			
平成18年11月30日残高	2,527,600	2,046,936	1,624,339	△ 1,751	81,648	18,597	6,297,369
中間連結会計期間中の変動額	—	—	△ 102,141	—	—	—	△ 102,141
剰余金の配当	—	—	285,769	—	—	—	285,769
中間純利益	—	—	—	△ 136	—	—	△ 136
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	5,432	1,614	7,047
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	183,628	△ 136	5,432	1,614	190,538
平成19年5月31日残高	2,527,600	2,046,936	1,807,967	△ 1,888	87,081	20,211	6,487,908

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

中間単体財務諸表

■ 中間貸借対照表

(単位：千円)

科目	当中間期 (平成19年5月31日現在)
資産の部	
流動資産	326,788
固定資産	12,430,542
有形固定資産	8,733,819
無形固定資産	18,927
投資その他の資産	3,677,794
資産合計	12,757,330
負債の部	
流動負債	3,127,581
固定負債	3,727,489
負債合計	6,855,071
純資産の部	
株主資本	5,815,177
資本金	2,527,600
資本剰余金	2,046,936
利益剰余金	1,242,529
自己株式	△ 1,888
評価・換算差額等	87,081
その他有価証券評価差額金	87,081
純資産合計	5,902,258
負債純資産合計	12,757,330

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 中間損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間期 (平成18年12月1日から 平成19年5月31日まで)
売上高	1,700,697
売上原価	1,201,612
売上総利益	499,085
販売費及び一般管理費	272,829
営業利益	226,255
営業外収益	33,136
受取利息	20,828
受取配当金	4,247
保険解約返戻金	819
土地収用による補償金	6,117
その他	1,123
営業外費用	43,702
支払利息	41,439
その他	2,263
経常利益	215,689
特別利益	20,440
投資有価証券売却益	20,250
貸倒引当金戻入益	190
特別損失	1,713
固定資産売却損	88
固定資産除却損	1,625
税引前中間純利益	234,416
法人税、住民税及び事業税	129,787
法人税等調整額	△ 22,251
中間純利益	126,880

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

トピックス

■ 草加営業所 開設

埼玉県草加市に建設していましたが、本年6月に完成いたしました。

草加市は東京都に隣接し都心へのアクセスが良く利便性に優れ、首都圏の活動拠点として関東一円を網羅し、お客様の多様な要望にお応えできる倉庫です。



建物概要

- 用途 倉庫 (2棟)
- 構造 RC造5階建 (一部鉄骨造)・高床式
- 建築面積 4,410.79㎡ (1,334.26坪)
- 床面積 北棟 11,445.57㎡ (3,462.28坪)
南棟 7,033.68㎡ (2,172.68坪)

■ 八街文書保管センターA棟建設開始

当社は、文書保管のニーズに備えて、本年6月、千葉県八街市に文書保管センターA棟の建設を開始いたしました。なお、9月完成予定でしたが、11月完成予定に変更になりました。



(八街文書保管センター完成予定図)



(八街文書保管センター完成予定図)

建物概要

- 用途 倉庫 (2棟) 文書保管倉庫
- 構造 鉄骨造 平家建 2棟
- 完成予定日 A棟 19年11月
- 床面積 A棟 2,083.17㎡ (630.16坪) 約78,000ケース収納
B棟 2,742.43㎡ (829.58坪) 約108,000ケース収納
※B棟につきましては、A棟竣工後、協議に入る予定です。

会社の概況

会社概要

平成19年5月31日現在

商号 丸八倉庫株式会社
 英文 Maruhachi Warehouse Company, Limited
 設立 昭和9年3月
 資本金 25億2,760万円
 従業員数 48名

役員

平成19年5月31日現在

取締役社長 渡邊 洋三
 専務取締役 平山 俊二
 常務取締役 立川 彰
 常務取締役 峯島 一郎
 取締役 峯島 茂兵衛
 取締役 石川 勝治
 取締役 岩佐 征三
 常勤監査役 佐々木 光昭
 監査役 古谷野 晃
 監査役 堀切 英武

事業所

①当社の主要な事業所

清澄営業所	東京都江東区	埼玉営業所	埼玉県所沢市
高橋営業所	//	草加営業所	埼玉県草加市 (平成19年6月竣工)
若洲営業所	//	宇都宮営業所	栃木県河内郡
葛西営業所	東京都江戸川区	仙台営業所	宮城県仙台市
板橋営業所	東京都板橋区		

②子会社の事業所

東北丸八運輸株式会社 宮城県仙台市若林区卸町東四丁目1番11号
 丸八クリエイティブ株式会社 東京都江東区富岡二丁目1番9号

株式の概況

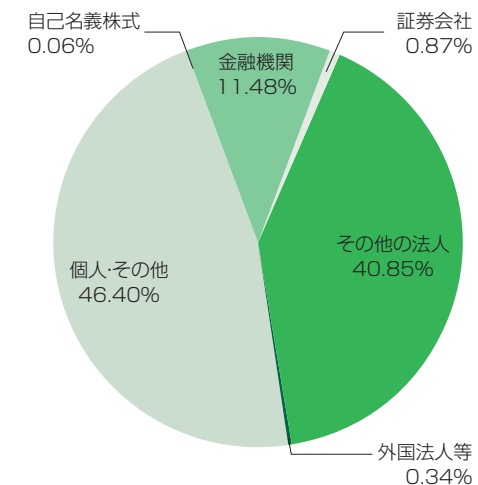
株式の状況

平成19年5月31日現在

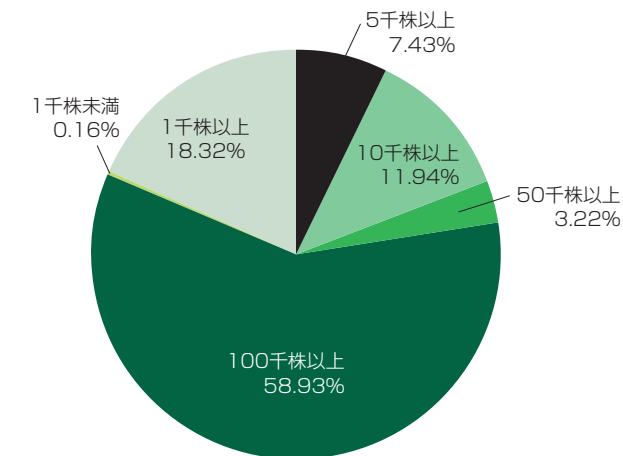
発行済株式の総数 14,600,000株
 株主数 2,209名
 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率 (%)
尾張屋土地株式会社	3,278	22.45
山崎商事株式会社	800	5.48
東京海上日動火災保険株式会社	654	4.48
三菱UFJ信託銀行株式会社	460	3.15
養命酒製造株式会社	400	2.73
峯島 一郎	349	2.39
株式会社三菱東京UFJ銀行	308	2.10
榑原 学	292	2.00
有限会社八峯	264	1.80
有限会社藍屋	243	1.66

所有者別株式数分布



株式数分布



プライバシーマーク付与認定

平成18年6月、当社では、プライバシーマークの付与認定を受けました。当社では、個人情報保護方針にしたがってお客様の個人情報を適切に取り扱い、プライバシーの保護に努めてまいります。

